

「臨床ケーススタディー パーシャルから総義歯まで徹底解説」

和田精密歯研株式会社  
山下正晃

欠損歯列には、少数歯欠損から多数歯欠損まで、また上下顎を組み合わせるとその欠損歯列は幾通りもの組み合わせがあり、補綴装置の設計・製作においてもさまざまです。

近年、この欠損部にインプラントを支持とした上部構造が補綴装置の選択肢に加わり、固定性のクラウンブリッジで修復するケースが増加してきました。一方で少数のインプラントを支持としたインプラント・オーバーデンチャー、あるいはインプラント・サポート・パーシャルデンチャーもまた、同様に増加の傾向にあるのも実際のところでは。

また、CAD/CAM の応用や新たな修復材料が開発され、補綴装置のバリエーションが増加すると共に、設計や構造面にも配慮が求められてきて複雑化しています。

インプラント治療がさほど行われていなかった頃、残存歯と欠損部の被圧変位量の違いを生理的許容範囲内に設計するための術式をチェアサイドとラボサイドの連携の中で試行錯誤してきました。それは、現在急速に普及しているデジタル技工においても誤差の追求という観点では今も昔も同じであり、また、経年的に変化する口腔内に装着する点においても何ら変わるものではなく、メンテナンスに対応できる補綴装置でなければならないことも周知のとおりです。

補綴装置を製作する立場として、ラボサイドで製作した補綴装置が口腔内で機能的、審美的にいかにか誤差を少なく製作することができるか、また、長期的にそれらの補綴装置がどう変化していくのか、パーシャルから総義歯まで、さまざまな臨床ケースを供覧いただきながら検討できればと考えています。

(略歴)

氏名 山下正晃(ヤマシタ マサテル)

1962年 香川県生まれ

1980年 和田精密歯研株式会社 入社

1983年 新大阪歯科技工士専門学校卒業

2003年 スーパーテクニシャン認定(社内制度)

2004年 和田精密歯研株式会社大阪工場 インプラント技工センター センター長就任

2004年 大阪府歯科技工士会東淀川支部 支部長就任

2014年 和田精密歯研株式会社大阪工場 工場長就任

- ・日本歯科審美学会歯科技工認定士(2007取得)
- ・日本口腔インプラント学会インプラント専門技工(2009年取得)
- ・日本顎咬合学会認定技工士(2013取得)